5/20 那加第一小学校　4年生　福祉体験

☆体の不自由な方の話を聞く。
　社会福祉協議会の人とトーキングエイドを使って話される満口輝彦さん
☆車椅子体験
　車椅子を使って介助をする時の心得や介助をされる側の気持ちを学んだ

車いす体験を通して　四年一組　浅野　穂伍

ぼくは、車いす体験が行われると知り、やりたいやりたいと思っていました。なぜならば、車いすは、足の不自由な人が使う物だとは、わかっていたけど、細かな所や動かし方は、わからなかったので、どうやって動くのだろうと思っていたからです。実さいに車いすに乗ってみると、坂を下る時に、前のめりになってしまい、思わず「わあー！」と言っていました。車いすを動かす人がしっかり持っていてくれるけど、スピードがでて転がり落ちそうだと思ったからです。また、だん差があるところでは、ガタンガタンといって、不安定になってしまいました。でも、車いすを動かす人に声をかけてもらって、「だいじょうぶだ」と安心することができました。

次に、車いすを動かしてみました。車いすは、便利な道具だと思っていたけど、坂を下る時はとくわかったので、声をかける ことに気をつけました。でも、声をかけることにういわれてしまいます。しかし、乗っている人は、それで不安になってしまうので、だん差など小さなことでも声をかけるようにしました。

車いす体験を通して、体の不自由な人を見かけたら、進んで声をかけたいです。

コミュニケーションをとって　四年二組　浅野　航太

ぼくは最初、車いすに乗っている時に、どのような事を感じるのかなどと、とても楽しみにしていました。しかし、この車いす体験をして、不自由な方々の不安な気持ちをとても感じました。

まずは、車いすに乗ってみました。すわるだけなら気持ちいいだけだったけど、車いすが動くと、少しこわくなりました。特にこわかったのは、だん差を上がったり、下がったりする所と、急な坂を上ったり、下ったりする所です。そうさする人はただ車いすをおすのではなくて、つねに乗っているぼくに声をかけてくれました。ぼくも、乗っていて「出発します。」や「だん差があります。」といってもらえると、少し安心して、あまりこわくなくなりました。次に、車いすを動かす体験をしました。坂を下る時は、後ろ向きで下がります。これは、少しこわくても、乗っている人を安全にするためです。そうさする人は、乗っている人のこわい、不安な気持ちを無くすために、声かけをたくさんしてあげる事が一番重要です。

車いす体験を通して、体の不自由な方々は、とても不安な気持ちでいる事が分かりました。乗っている人とそうさする人がおたがいにうまくコミュニケーションをとって、少しでも安心させる事が大切だと分かりました。

気を使い合って　四年三組　櫻木　愛美

車いすってどんなふうに乗るのだろう。どんな気持ちになるのだろう。車いす体験をする前、わたしはこんなふうに思いました。

実際に乗ってみたとき、なんだか不安でした。ちゃんとおしてくれるかな、だん差はどうするのだろうなどとても不安でした。でも毎日車いすに乗っている人はおしている人と気を使いあっているので車いすに乗ってみる人は安心して乗れるのだと思います。実際に車いすに乗っているみそ口さんというかたはあまりうまくしゃべれないのでひらがなのボタンをおすと機械がしゃべってくれる便利な道具を使っています。わたしは車いすも同じような役割をしていると思います。理由はみそ口さんのような体の不自由な人の体をささえる役割をしているからです。

このように、車いすという物は体の不自由な人をささえる大切な道具です。わたしたちは日じょう生活でも車いすに乗っている人に気を使っていきたいです。

わたしたちにできること　四年四組　長野　汐莉

五月二十日、今、私たちが総合学習で取り組んでいる「ぼくたちわたしたちにできること」というテーマで、車いす体験を行いました。

最初、車いすに乗る前は、楽しそうだが、おす時は坂は大変かもなと思っていました。でも実さいに乗ってみると、おしてもらう人に声をかけてもらわないとものすごく不安で、すごくこわくなりました。とくに坂の所で下っていく時は、後ろ向きなので、そのまま落ちてしまいそうでこわかったです。だから、自分が車いすをおす時は、声をかけてゆっくりおしてあげれば、乗っている人も安心すると思いました。

次に、車いすをおす体験をしました。ちゃんとおせるかが不安でした。そしておしてみたら、自分がこわくなって、最初の方は声があまりかけられませんでした。でも少しなれてくると、自分も安心して「まがるよ」などと、たくさん声をかけることができました。坂をのぼる時はすごく重くて、体でおすようにして力を出しておしました。

この車いす体験をして、車いすの人の大変さや不安な気持ちがよくわかりました。車いすをおす人の声かけがとても大切だと分かりました。これからは、町で車いすの方を見かけたら、すすんで声をかけて私にできるお手伝いをしていきたいと思います。

6/2 高齢者健康づくり教室

参加者 86名　那加一体育館

筋を伸ばして

ポールを使って

タオルを使って

10/21 お年寄りを囲む会

参加者 110名　那加一小体育館

〈那加一小1年生とのふれあい〉

国語教材「おむすびころりん」を
全て暗唱
さすが1年生!!

「AKB48」の曲に合わせて踊りました。

1年生の感想

- にこにこ笑って見てくれてうれしかったよ。
- ダンスをしたら、おばあちゃんたちがびっくりした顔をしたよ。拍手をもらえてうれしかったよ。
- 始める前にドキドキしたよ。せりふをまちがえずに言えるかなって思ったよ。
- いっぱい練習したからうまくできたよ。
- 最後におじいちゃんに感想をもらってうれしかったよ。
- おばあちゃん一緒にふりをしてくれてありがとう。

〈那加保育所年長児とのふれあい〉

法被を着ての
見事な動き

肩たたき
歌に合わせて
トントントン

心のこもった「手づくりペンダント」をもらいました。

〈大正琴に合わせて歌を〉

大正琴の演奏
「アンダンテ」
代表：小川龍馬
青い山脈
なつかしい歌を
10曲
参加者も共に
歌いました。

〈那加一小の今、昔〉

写真を掲示しました。
見て下さい。
（村井校長先生）

来年も開催します。
参加して下さいね!!

〈みんなで楽しく食事〉

〈健康についての話を聞く〉

筋力アップ体操をはじめよう